

有害プランクトン情報

(令和4年度 - No. 9)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- | | | | | | | |
|-------|----|---------|----------|-------|----------|-------|
| ○ 調査日 | 沖合 | 12月 第1回 | 内湾 (8地点) | 12/7 | 内房 (7地点) | 12/8 |
| | | 12月 第2回 | 内湾 (8地点) | 12/19 | 内房 (7地点) | 12/20 |

東京湾(内湾)

【有害プランクトンの出現状況】

- カレニア ミキモトイがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 12/7 盤洲南部 密度は0.05 細胞/mL
- カレニア ミキモトイ以外のシャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属は確認されませんでした。
- ※ シャットネラ属は1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は1,000 細胞/mL, カレニア属は100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。
- 赤潮は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - ディノフィシス アキュミナータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 12/7 アクア北部, 船橋沖～千葉沖, 盤洲北部～南部 最高密度は船橋沖, 盤洲南部の0.1 細胞/mL
 - ディノフィシス ロツンダータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 12/7 盤洲南部 密度は0.05 細胞/mL
 - ・ 12/19 アクア北部～南部 密度はそれぞれ0.05～0.1 細胞/mL
 - ディノフィシス コウダータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 12/7 アクア南部および羽田沖 密度はいずれも0.1 細胞/mL
 - ディノフィシス インファンディブラがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 12/7 千葉沖 密度は0.05 細胞/mL
 - 貝毒の被害情報はありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)

【有害プランクトンの出現状況】

- 有害プランクトン（シャットネラ属，シュードシャットネラ属，ヘテロシグマ属，カレニア属）は，いずれも確認されませんでした。
- 赤潮は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

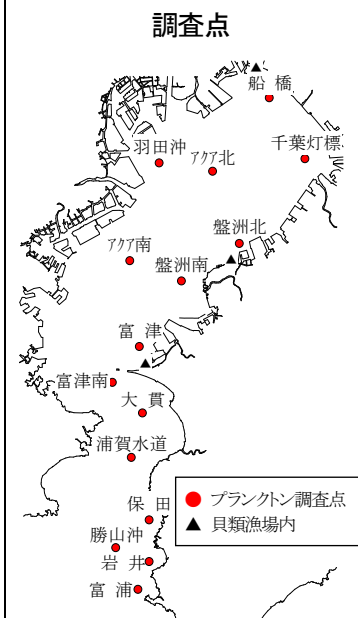
- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
 - 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - ディノフィシス アキュミナータがみられました。低密度ですが，注視が必要です。
 - ・ 12/8 浦賀沖 密度は0.1 細胞/mL
 - 貝毒の被害情報はありませんでした。
- (貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

- | | | |
|-----------|-------|-----------------------------------|
| 12/7, 8 | 内湾・内房 | 珪藻スケレトネマ属，キートセロス属など |
| 12/19, 20 | 内湾・内房 | 珪藻タラシオネマ属，キートセロス属，渦鞭毛藻プロロセントラム属など |



スケレトネマ属
(12/7 アクア北部)



連絡先：千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp